

ごあいさつ

経済経営学部長 村山光博



長岡大学の「学生による地域活性化プログラム」は、平成19年度に文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択された「学生による地域活性化提案プログラム 一政策対応型専門人材の育成」に始まり、今年度で丸9年となります。次年度はいよいよ10年目ということになるわけですが、この教育プログラムの成果が実際に地域活性化に貢献できているのかについて、これまでを振り返りながら今後の取り組みへの方向性を確認する時期に来ているとも言えます。

直接的に目に見える貢献とまでは行きませんが、始めたばかりの9年前と比較すると周辺地域における「学生による地域活性化プログラム」の認知度は明らかに高まっていると感じます。これまで本プログラムの運営において積極的にご支援をいただいていた地域連携アドバイザーの皆様だけでなく、初めてお会いする地域の方々からも本プログラムの個々の取り組みテーマに対するお問い合わせや称賛の声などをいただくことが増えてきております。また、テーマによっては学生の取り組みに関して新聞やテレビなどのメディアでも大きく取り上げていただくことが多くなりました。

長岡大学の建学の精神は、

- ・幅広い職業人としての人づくりと実学実践教育の推進
- ・地域社会に貢献し得る人材の育成

です。「学生による地域活性化プログラム」は、まさにこの精神を実現するための本学の重要な教育プログラムであると言えます。

「地域活性化とは何か」という問いに対する明確な答えは無いと思いますが、そのような答えの無い課題に対して、どのように考え、どのように行動して行くのかを学生が自ら試行錯誤しながら体得していくことができます。これは大学を卒業して地域社会の一員となる学生たちが、将来、それぞれの地域が抱える課題を乗り越えていかなければならないことを考えると、彼らにとって貴重な体験となるに違いありません。

本プログラムでは、ゼミナールという単位で1つのテーマを取り上げ、ゼミに所属する複数名の学生がグループで活動を進めて行くこととなりますが、時には学生同士での意見の食い違いや、ちょっとしたすれ違いなどが起こることもあります。このような体験も学生がさらに一段成長する要素となります。ゼミで決めた研究テーマをまとめ上げるために、どのように他の学生とかかわりながら取り組みを進めて行くべきなのか、この取り組みの中で自分の果たすべき役割は何であるのか、などを考えながら活動を行っていくことで、チームで活動することの難しさだけでなく、チームでやり遂げたことの充実感や達成感を味わうことができます。

「学生による地域活性化プログラム」では、学生が地域の皆様と一緒に考え、汗をかき、そして楽しむことで、当面の地域貢献だけでなく将来にわたって地域の活性化を担っていける人材の育成を目指しております。

地域の皆様には日頃より、本プログラムへの多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

平成28年3月

学生による地域活性化プログラム

平成27年度 活動報告書 第I部

目 次

第1章	学生による地域活性化プログラムの概要	I-1
1.1	プログラムの位置づけ	I-1
1.2	プログラムの概要	I-1
第2章	平成27年度取組の経過	I-4
2.1	本年度取組の経過	I-4
2.2	平成27年度の学生による地域活性化取組ゼミ	I-5
2.3	平成27年度の推進体制	I-6
第3章	本取組における学生教育の評価	I-7
3.1	社会人基礎力の評価	I-7
3.2	ビジネス展開能力の評価	I-18
第4章	取組結果のまとめ	I-20
4.1	取組成果と今後の課題	I-20
4.2	取組結果の概要	I-20
参考資料		
1	学生による地域活性化プログラム平成27年度成果発表会（ポスター）	I-30
2	学生による地域活性化プログラム平成27年度成果発表会	I-31
3	社会人基礎力診断シート（学生用）	I-33
4	社会人基礎力診断シート（教員用）	I-34
5	平成27年度「地域活性化プログラム成果発表会」意見シート	I-35

学生による地域活性化プログラム
平成 27 年度 活動報告書 第 II 部

学生による活動報告 目次

- 橋長真紀子 ゼミ
未来の農業革新Ⅱ
－長岡の食の魅力伝える観光業への貢献－……………Ⅱ－1
- 村山 光博 ゼミ
企業の情報発信とホームページの役割……………Ⅱ－59
- 高橋 治道 ゼミ
地域の魅力発信による絆結び
－高橋九郎の活躍を後世につなげる－……………Ⅱ－105
- 広田 秀樹 ゼミ
グラスルーツグローバルゼーション
－草の根・地域からの地球一体化推進－……………Ⅱ－145
- 鯉江 康正 ゼミ
まちの駅の情報発信とおもてなし事例調査……………Ⅱ－183
- 米山 宗久 ゼミ
「空き家を使った移動販売型買い物支援」の実現に向けて……………Ⅱ－235
- 山川 智子 ゼミ
長岡周辺地域の温泉資源の現状分析と情報発信……………Ⅱ－285
- 中村 大輔 ゼミ
地域イベントにおける広報活動の重要性
－ながおかバル街を例として－……………Ⅱ－355
- 権 五景 ゼミ
十分杯で長岡を盛り上げよう！……………Ⅱ－393

学生による地域活性化プログラム
平成27年度活動報告書

第 I 部

学生による地域活性化プログラム
平成27年度活動報告書

第Ⅱ部 学生による活動報告

学生による地域活性化プログラム
平成 27 年度 活動報告書 第 II 部

学生による活動報告 目次

- 橋長真紀子 ゼミ
未来の農業革新Ⅱ
－長岡の食の魅力伝える観光業への貢献－……………Ⅱ－1
- 村山 光博 ゼミ
企業の情報発信とホームページの役割……………Ⅱ－59
- 高橋 治道 ゼミ
地域の魅力発信による絆結び
－高橋九郎の活躍を後世につなげる－……………Ⅱ－105
- 広田 秀樹 ゼミ
グラスルーツグローバルゼーション
－草の根・地域からの地球一体化推進－……………Ⅱ－147
- 鯉江 康正 ゼミ
まちの駅の情報発信とおもてなし事例調査……………Ⅱ－185
- 米山 宗久 ゼミ
「空き家を使った移動販売型買い物支援」の実現に向けて……………Ⅱ－237
- 山川 智子 ゼミ
長岡周辺地域の温泉資源の現状分析と情報発信……………Ⅱ－287
- 中村 大輔 ゼミ
地域イベントにおける広報活動の重要性
－ながおかバル街を例として－……………Ⅱ－357
- 権 五景 ゼミ
十分杯で長岡を盛り上げよう！……………Ⅱ－397